

## 情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	C074	行事名	第1回 国際協働学習シンポジウム
行事形式	ICTセミナー等	主催団体	NPO法人グローバルプロジェクト推進機構(ジェイアーン)
開催日	令和5年6月11日(日)	開催場所	JICA地球ひろば ルーム201AB・202AB
行事参加者数	74名 (ハイブリッド開催)	WebサイトURL	<a href="https://www.iearn.jp/symposium/index.html">https://www.iearn.jp/symposium/index.html</a>

### 行事实施概要・アピール等

#### ジェイアーン設立20周年記念「第1回 国際協働学習シンポジウム」

-GIGAスクール時代の国際協働学習-

ジェイアーンは、日本デジタル・シティズンシップ教育研究会、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)、NPO法人地球対話ラボとの協力企画で、「GIGAスクール時代の国際協働学習」をテーマとする初めてのシンポジウムを開催しました。20周年記念そしてコロナ禍で4年ぶりのリアル開催ということで、会場は熱気にあふれ、さまざまな人々が出会うエネルギーを感じました。

【基調講演】 豊福晋平氏 国際大学GLOCOM 主幹研究員「GIGAスクール時代のデジタル・シティズンシップ教育」①デジタル環境が変える教育 ②国際協働学習でデジタル・シティズンシップ教育が注目される理由 ③「デジタル・シティズンシップの展開」の3点をお話いただきました。

【実践報告】SDGsに関連するプロジェクトをベースとした、小学校、中学校、高校、大学でのアイアーン国際協働学習(グローバル・シティズンシップ教育)の実践事例発表を合計8組行いました。それぞれのプロジェクトを通して、グローバルコンピテンスが育まれていると感じました。

【パネルディスカッション】「GIGAスクール時代の国際協働学習」ファシリテーター 坂本 旬 法政大学教授 NPO法人地球対話ラボやACCUからユネスコスクールの実践、そして小学校からデジタル・シティズンシップ教育実践、大学からアイアーンの国際協働学習の実践報告があり、ESD、デジタル・シティズンシップ教育、グローバル・シティズンシップ教育について、実践的な議論を行うことができました。みなさまからの貴重なお話とご意見のおかげで、デジタル・シティズンシップ教育の重要性、国際協働学習をとりまく現実の動き、生徒の自立的学習を阻む壁、そして「大学との連携」といった解決の糸口まで、広い視野で、国際協働学習を俯瞰することができました。なにより協力団体との出会いが、大きな一歩となりました。今後も、協力団体との情報交換は大切だと感じました。20年前のジェイアーン設立メンバーから、若い世代へとシフトしていく力に希望の光を見ました。

